

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ドリトルハウス向日				公表日	2026年 3月 31日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	・活動を分けたり工夫はある。 ・やれることはすこしがられる。	・再度、スペースを工夫して使えないかを確認、活動がしやすい環境をつくっていきます。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		・階段は急であるため、手すりがついており、滑り止めも付けている。階段にすぐに飛び出してしまう様に柵の設置を行っています。さらなる安全上必要な事があれば追加していきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・他のお友達と一緒に宿題に集中できない方や一人で落ち着きたい方は、個別の部屋を使用していただいています。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・勤務回数の少ない職員にも目標設定などを把握出来る様にファイルを作成し更新し確認していただいている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎年、評価表に記入していただき、内容を参考にし業務改善を行っています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎日ミーティングを行い各職員から意見を聞き、振り返りを行っています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		会社内の関連事業所から人に入ってもらう所から始め、改善点があるかを確認していきます。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・定期的な外部研修の案内、月1回の内部研修を行っています。会社内の関連事業所で集まり研修も行っていきます。				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・作成しホームページに公表しています。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・現在ご利用されている方の様子や保護者の方からのお話を参考にし、今の自身の事業所ではどのような取り組みが必要かを検討し計画を作成しています。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・共通認識を持つことが出来る様に支援や業務に関する基本的な指針を作り共有しています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			・勤務頻度により職員間で支援の差が出るため、勤務頻度に応じた役割分担の再検討を進めています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・日々の振り返りを元に活動プログラムの立案、改善を行っています。				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			・デイサービス以外の状況も考慮し、集団活動に入りにくい場合は個別活動を取り入れています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・支援計画に関する記録及びその他支援上必要になる事項の記録を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			・活動内で好きなダンスを決めて踊る、外食活動で自分の食べたいものを選ぶ、制作で好きな色を選ぶなど自己決定の機会を取り入れています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			・必要に応じて関係機関との会議を行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			・保護者の方、地域の放課後等デイサービス連絡会も含め情報共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			・児童発達支援事業所にも様子を見学に行かせていただき事前に情報を得ています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			・中、高生になった方に関しては、関連事業所内の中高メインのデイサービスへ移っていただいています。そちらに支援内容の共有を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		・児童発達支援センターにも見学にうかがい、支援方法について学んでいます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		・公園での活動の際など、地域のこどもたちと一緒に遊ぶなど交流の機会があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		・地域の放課後等デイサービス職員で集まる連絡会に毎月参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・送迎時、保護者の方へ当日の様子をお伝えしています。 ・定期的な面談時に課題の共有を行っています。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		・学校卒業後の暮らしについての研修案内をご家族の方に行いました。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・契約時に書面を見てもらいながら説明させていただいています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			・ご本人に関しては普段の様子から考えられる気持ちを汲み取ったり、直接お話しした際に出た言葉を反映し支援に組み込んでいます。面談にて保護者の方の意向も確認させていただいています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			・面談での内容を支援計画に取り入れ、同意を得ています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・面談のみでなく、普段の送迎やLINEを通じてやりとりの中で相談に対しての助言を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		・普段行っている音楽療育の活動を保護者の方に見ただけの機会を設けました。音楽療育の先生にも来ていただき、保護者の方も一緒に参加できる活動を行っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情があった際は電話やLINEなど連絡の取りやすい方法で対応を行っています。その後、相談・苦情報告書をまとめ、職員全体への共有も行っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・SNSへ普段の活動の様子が分かる写真を掲載しています。活動予定に関しては事前に1ヶ月ごとに予定を立て配布し確認できる様にしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報の載ったファイルは鍵付きの棚に入れてあります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・ご利用者に関しては言葉だけではなく、視覚的に分かりやすい写真や絵を使い情報が伝わりやすい様にしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・各種マニュアルを用意し、ファイルにまとめ、誰でも閲覧できるように置いています。また職員のみ訓練、ご利用者も含めた訓練も行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・計画内容に沿って確認、訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・初回面談時の聞き取りにて確認を行っています。ご利用途中から服薬などを開始した際は、その都度内容を確認させていただいています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・食物アレルギーに関しても保護者の方を通じて有無を確認しています。アレルギーに関係のある、おやつや調理食材は外しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・普段の活動、季節ごとの活動を考慮し、年間の安全計画を作成しています。新たな活動などで必要と思われる計画については都度追加しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・定期的な面談で追加したものの説明などを行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・普段感じたちょっとした危ないと思われる部分に関して記録し、職員間で共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・内部、外部研修を行い、参加した際は内容を記録し職員間で共有を行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・虐待防止、身体拘束適正化研修とともに普段の活動における基準を考え、支援計画にも記載した上で保護者の方に了承を得ています。	